

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズはらら				公表日	令和8年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個々の支援状況に応じてパーティションなどを活用しながらスペースの確保をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個々の状態に合わせ変更等を行っています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			歩行が難しい利用児にとって、バリアフリーの環境充実とまではいかない。今後環境改善の検討を行える範囲で行っていきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に合わせて部屋を使い分けています	今後も全職員で整理整頓しながらより良い環境作りに取り組んでいきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションで区切りを作り、個別対応のスペースを確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		フィードバックの時間を充実させる事で、情報共有をしっかりと図っています I C機器を使い、休みのスタッフも情報共有できるように構造化しています	今後も周知の徹底に努めてまいります	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者から頂いたアンケートをスタッフにも周知し共有を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に管理者とスタッフとの1対1の面談を実施し、意見等の把握に努めています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		修正点等を伺う機会が少ない為、改善点等を含めた、意見交換会に取り組んでいきたいと思います。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に施設内研修や外部研修実施しています 研修案内も定期的に行っています	今後も研修機会を設け資質の向上に取り組んでいきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公表しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		母子通園の為、保護者と連携をしっかりと図り、ニーズや課題を把握して計画書を作成しています	今後も保護者様と連携を図り、計画書の作成に取り組んでいきます	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		責任者とスタッフと日々子どもの情報交換を行いながら作成を進めています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		A F分析等行っています	ツールを使いこなせているスタッフとそうでないスタッフがいるため、活用方法の周知・勉強会の機会を確保していきます	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			今後より一層チームでの立案に注力していきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援の記録を確認しながら、前回の支援を参考に固定化しないように工夫しています。		

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の発達に合わせた支援の提供を行っているよう、柔軟なプログラム作成を行っています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	話し合いを意識して日々支援に取り組んでいます	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		時間を決めずに振り返りを行う為、時間が長時間化してしまうので、時間を決め業務改善に努めています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の支援内容を細かく記載しています	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	児発管が参加されることが多いです	今後も子ども状況を把握できているスタッフが参加できるよう取り組んでいます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・定期的ではありませんが、必要に応じて幼稚園へ見学に行き、利用児の様子を見て情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	学校に出向き連携を図っています	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		療育時間に一緒に活動する機会がなく、兄弟児との交流のみとなっている。今後交流機会を検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修案内等定期的に頂いており、活用しながら、事業所運営に役立たせていただきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援後はフィードバックを行い、その日の様子をお伝えしています。またお伝えが難しい場合はLINEにてお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアトレやベクス研修等を行っています	ペアトレ、子育てサポートの充実を図り今後も家族支援を行っています
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	事業所内相談や日々の情報交換にて、意向等把握を心がけています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	事業所内相談や子育てサポートによる支援参加の機会を設けています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		父母会はないですが、イベントやペアトレの機会を活用し、交流の提供を行っています
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	利用時間を変更してもらうなど、スタッフが対応できる時間を設けて対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		母子通園の為、日々の活動等はその場で説明を行い、行事案内等はその都度になってしまっているので、今後年間計画の作成に取り組んでいます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方を招待しての行事等は実施していません。見学等は常時実施しているので、地域の方へ発信していきます
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		スタッフの訓練は定期的を実施しているが、保護者参加の訓練は引き渡し訓練のみの為今後さまざまな訓練を実施していきます
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間計画をたて実施しています。今後も安全計画のもと取り組んでいます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	どのスタッフでも把握できるよう一覧化しています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食べ物を使っての支援の際は、実物を見て頂きアレルギー確認を行い同意を得ています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		ご家族がいつでも分かる掲示等がない為、今後保護者様にも分かりやすい掲示を行っていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		小さなことから共有を行い、全体での危機管理意識を高めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		勉強会等を計画し、統一した対応が取れるよう今後も進めていきます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		早期発見、通報に繋げるだけでなく、保護者との連携から防止にも努めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・事前に説明を行い、同意書を作成して手続きを行っています。 今後委員会や保護者協力の下、適切な支援をすすめていけるよう取り組んでいきます。